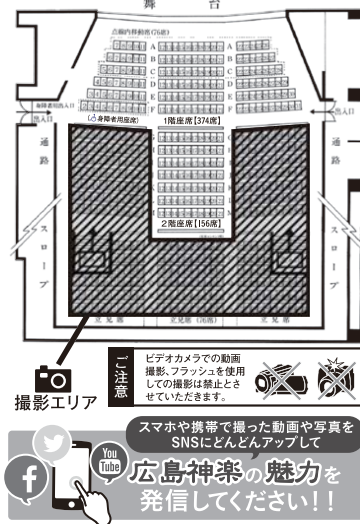


「広島神楽」定期公演へようこそ!

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアをお願いいたします。



本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラでの**動画撮影、フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

11月9日のタイムスケジュール

出演：龍南神楽団（北広島町）

19:00～開演

19:05～第一幕『大江山』

(およそ40分)

～幕間(休憩)～

20:00～第二幕『八岐の大蛇』

(およそ40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。
本日の記念に是非ご参加下さい。
また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。
(舞台へは靴を脱いでお上がください。)
※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

りゅうなんかくらだん

龍南神楽団プロフィール ～山県郡北広島町～

豊平の名峰・龍頭山にある”駒が瀧(たき)”の南側の地域を瀧南(りゅうなん)と言います。当神楽団は、この地域にある都志見地区の神楽団です。嘉永6年に作ったとされる台本が残されていますので160年前には、当地域には神楽があったこととなります。その古い伝統独自の神楽を次代に継承、守り続けておりますが、過疎高齢化の為、後継者不足に悩んでいます。

第一幕『大江山』(おおえやま)

一条天皇の御代、丹波の国の大江山に酒呑童子という悪鬼が、多くの手下を従えて立て籠もり、都はもとより付近一帯の村里に出没し領民を苦しめるので、時の帝は、杜氏、都の警備の任に当たっていた武勇の誉れ高い源頼光等に征伐を命じられました。そこで源頼光は、渡辺綱、坂田金時、碓井貞光、卜部季武など四天王の面々と、山伏修験者に変装して大江山に向かいます。

日ごろより信仰する住吉大明神に祈願のため立ち寄り、不思議な御神酒を授かります。

山中で都よりさらわれた紅葉姫に出くわし、岩屋へと案内をさせて、酒呑童子と酒宴をはかり、油断に乗じてこれを鎮圧するという物語です。

【出演】	大太鼓 … 高田 春二	源 頼 光 … 花 升 隆宏	酒呑童子 … 佐藤 修作
	小太鼓 … 上田 康夫	坂田金時 … 佐々木 天斗	茨木童子 … 小川 徹
	手打鉦 … 佐々木 孝男	紅葉 姫 … 伊藤 達郎	唐熊童子 … 沖 貴雄
	笛 … 大石 克彦		

第二幕『八岐の大蛇』(やまたのおろち)

※演目が変更になりました。あらかじめご了承ください。

天照大神の弟、須佐之男命が出雲の国に降りられ、斐の川の上流に辿り着くと、老夫婦が姫を中に置き嘆き悲しんでいました。命がその訳を聞くと八人いた姫を八岐の大蛇という大蛇が一年に一人ずつ奪っていき、残ったこの姫ももうじき捕まえられる時期となり、嘆き悲しんでいると聞き、命は老夫婦に酒を用意させ大蛇に酒を吞ませて酔ったところを退治すると約束をします。

酒を準備すると、八岐の大蛇が現れ酒を呑み酔い眠るところを大格闘の末、命は見事八岐の大蛇を退治するという物語です。

【出演】	大太鼓 … 佐藤 修作	素戔鳴尊 … 伊藤 達郎	大 蛇 … 小川 徹	大 蛇 … 沖 貴雄
	小太鼓 … 上田 康夫	足名稚 … 大石 克彦	大 蛇 … 打田 貴義	大 蛇 … 佐々木 天斗
	手打鉦 … 高田 春二	手名稚 … 佐々木 孝男	大 蛇 … 花 升 隆宏	
	笛 … 下梶 憲昭	奇稲田姫 … 河野 弘美		

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。